

## 【企業の経営者の皆様へ】

～始良市の未来と、子どもたちの多様な学びへ、温かい支援をお願いいたします～

始良市長の米丸まき子です。

いつも始良市の市政に対し、温かいご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

本日は、本市が推進する地方創生プロジェクトと、それを支える「企業版ふるさと納税」によるご支援のお願いです。

現在、始良市では、地域の活性化や、次世代を担う子どもたちの多様な学びの場を創出するため、一般財団法人私立新留小学校設立準備財団による「私立新留小学校」の設立に向けた取組を応援しています。

このプロジェクトは、鹿児島県始良市の旧新留小学校を舞台に、2027年4月の開校を目指して進められている、新しい小学校づくりです。

かつて地域の子どもたちが学び、地域の皆様に親しまれてきたこの場所を、再び子どもたちの学びの場としてよみがえらせる取組でもあります。

この学校は、子どもたちが学ぶ場所であると同時に、地域の皆様が集い、世代を超えてつながる、まちの大切なよりどころとなることを目指しています。

子どもたちはもちろん、地域に暮らす方々、先生方、事業者の皆様、農業や食に関わる方々がともにつながり、地域に開かれた学びの場をつくってまいります。

この学校が始良市にできる意味は、単に一つの私立小学校が誕生するということにとどまりません。

人口減少や少子高齢化が進む中山間地域において、かつて地域の中心であった学校に再び灯りがともることは、地域そのものの再生につながります。

旧新留小学校は2007年に休校、2020年に廃校となりましたが、その校舎を起点に、新たな教育と地域づくりの拠点として再び活用しようとする挑戦です。

また、新留小学校では、近隣の生産者と連携した給食、まちに開かれたランチルームやライブラリーなど、地域とともに学びの環境をつくる構想が掲げられています。

これは、子どもたちの教育だけでなく、地元の一次産業、食、文化、自然、地域コミュニティを次世代へつなぐ大切な取組でもあります。

始良市にとっての意義は、大きく三つあります。

一つ目は、子どもたちに多様な学びの選択肢が生まれることです。

公立・私立という枠を超えて、始良市に「教育で選ばれるまち」という新しい魅力が加わります。

二つ目は、移住・定住の促進です。

子育て世代にとって、教育環境は住む場所を選ぶ大きな理由の一つです。魅力ある学びの場があることは、始良市への移住や定住を後押しする力になります。

三つ目は、地域経済への波及です。

学校を中心に、地元の食材、生産者、商店、地域活動、文化体験などがつながることで、小さくとも温度のある地域経済が育まれていきます。

本市と当該準備財団とは、昨年5月8日に「旧新留小学校跡地に関する基本協定」を締結し、地域全体の教育環境向上に向けて連携を進めてまいりました。

この取組は、単なる学校づくりではなく、始良市の未来への投資です。

子どもたちの学びを豊かにし、地域の資源を生かし、企業の皆様とともに地方創生の新しいモデルをつくっていく挑戦です。

この事業を安定的・継続的に推進するため、始良市では条例に基づき「始良市企業版ふるさと納税基金」を設置しています。

皆様からいただく企業版ふるさと納税、地方創生応援税制によるご寄附は、この基金に一度積み立てられた後、協定に基づく学校設立支援事業をはじめ、本市の重要な地方創生事業に、適正かつ透明性を持った手続きのもとで役立てられます。

法人住民税などから最大約 9 割の税制優遇が受けられるほか、ご寄附をいただいた企業様は、本市の公式ホームページ等で、地方創生への貢献企業として広く発信させていただきます。

企業の SDGs 活動、特に「質の高い教育」「住み続けられるまちづくり」「地域との共創」にもつながる取組として、ぜひご検討ください。

子どもたちの未来と、始良市の地方創生を、私たちとともに創り上げていただけませんか。

経営者の皆様からの温かいご支援を、心よりお待ち申し上げます。